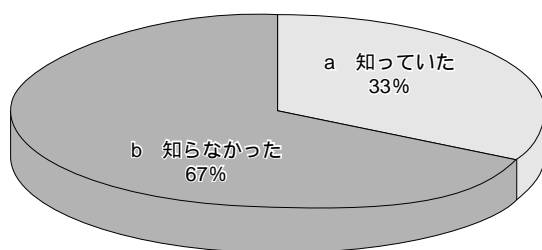


# アンケートのまとめ

## 講演について

### 1、「3年目に入ったモンゴルボランティア」

パンテックユニオンがモンゴルへのボランティアを行っていることをあなたはご存じでしたか？



講演を聴かれてどのように感じましたか？

- ・短い時間の中でモンゴルの社会や文化についてたくさん教えて頂きました。わが国がいかに豊かな国であり、今の時代に育つ子供がいかに恵まれているか。この恵まれた環境で心も豊かに育ってほしいと痛感しました。パンテックユニオンの方々がモンゴルの地に実際に足を踏み入れられ報告の中では伝わらなかったご苦労も多々あったことを推察いたします。今回が3年目の活動であり、これまでの活動が無駄ではなかったと言われたことがパンテックユニオンの成果であったと感じました。今後の活動と継続されていかれることを期待しています。
- ・続けて訪問しているならば、出来るだけ多くの方が行かれると良いですね。私も一度行ってみたいと思いました。
- ・モンゴルについてはテレビなどで紹介される大自然については知っていましたが、今回、直接行った方の話を聞き、またビデオも見せていただきいろんな事も知ることができました。また日本とは生活に大きな違いがあり、

経済的にもずいぶん違うということがわかりました。少しのボランティアからでも始めなければという気持ちを感じました。

- ・モンゴルというとテレビで見た広大な草原が広がる平和な遊牧民の国というイメージしか持っていませんでしたが、今回の講演でマンホールチルドレンの話を知り、同じ年頃の子供を持つ親としてショックを受けるとともに自分の見識の無さを恥ずかしく思いました。パンテックユニオンのみなさんがこのようなボランティア活動をされているのを聴き誇らしく思うとともに今後は自分たちで出来ることを家族とともに協力していきたいと思います。
- ・ボランティアは「心のゆとり」というもので構成されていると思いました。多分、実行したあとには「ボランティアしている」でなく、させてもらって生かされている自分に気付くのでは。現在、地域のボランティア活動で少しだけ協力しているのですが、こんな取り組みが普通に日常生活の中へ溶け込んでいって、地域社会の草の根的活動のきっかけになれば良いなと改めて思いました。
- ・モンゴルの美しい自然、施設の子供たちの懸命に生きる姿は十分に伝わってきましたが、今なお悲惨な状況下で生きていくことを余儀なくされている子供たちが数多くいることをもう少し伝えてほしかった。またオープンした里子レストランの今後が気になるが、ぜひ上手く軌道にのってほしい。
- ・今回、支援金で本を購入したとのことであるが、たいへん喜ばれたのではないかとと思う。ボランティアする側の意思、出来ることに対して、される側が求めていることのギャップをどう埋めていくかが難しいと思った。
- ・マンホールチルドレンの話は、少しは聞いて知っていましたが、実際の話を知りて看護を

必要とする子供が多いのにも関わらず医療がまったく行き届いていないのが現状に驚いた。私たちもパンテツユニオンのボランティア活動を通じて少しでも医療材料などの購入に役立つことが出来ればと思っています。

- ・ 組合がボランティア活動を始めるきっかけとのつながりが良くわかりました。会社だけでなく外の世界とのつながりが出来て、素晴らしい活動だと思いました。
- ・ モンゴルの子供たちとの交流、そしてこれからも、またモンゴルに緑が増えていくことを期待しています。
- ・ マンホールチルドレンが少しでも一人でも少なくなったら良いですね。
- ・ モンゴルの人々の生活の一部を知ることが出来て、良かったと思いますが、自分の目で見ていないため貧窮している実態がまだ十分は実感できません。私でもお手伝いできることは進んでしたいと思いますので、もっと情報を提供してください。

## 2、「健康で輝く人生を」

講演を聴かれてどのように感じましたか？

- ・ いつもこのような講演会では必ずと言っていいほど寝てしまうのですが、初めから最後までじっくり聞き入ってしまいました。講師の看護婦としての実体験とアドバイス、すべてが共感でき参考にさせていただきたいと思います。講師の前向きな生き方を聴かせていただきエネルギーを感じました。私ももう無理だなとあきらめていたことなど再度チャレンジしてみようという気になりとても良い刺激を受けたと思っています。
- ・ 講師の生き方に感心させられました。准看護婦から46才という年令で正看護婦を目指し勉強されたこと。今も家庭も守られながら夜勤もこなされていること。過酷な勤務の傍ら、ボランティアにも取り組まれていることに驚きました。私もかつて看護婦として5年間働いていましたが子育てと仕事の両立が難しく家庭に入りました。いつかまた復職したいと

いう思いで、現在は市役所の健康福祉課に籍を置き訪問指導を行っています。家庭、子育てに支障が出ないところで自分の空いた時間を仕事に当てている状態です。講師の次々と新たなことに挑戦されていく姿に「私も頑張らねば」と、元気をいっぱい頂きました。現在私の子供は臨床心理士を目指し大学で心理学を学んでいます。子供にも講師の生き方を話してみようと思います。きっと勇気づけられると思います。

- ・ 講師のモンゴルでのボランティア活動、感激しました。また前向きな行動にも自分を奮い立たせて頂きました。
- ・ 講演のテーマからは、自分自身、家族が健康でいるためのヒント、もしくはケアマネージャーもされているとのことだったので介護の現状等の話をされるかと思っていた。参加者の年齢層に幅があり難しかったと思うが思春期、更年期、健康管理、何でも良いからひとつのテーマを掘り下げて聴きたかった。おもしろそうな話が聴けそうただけに残念だ。
- ・ 女性の時代といわれて久しいが、女性が外で活躍するためには、いつの時代にも夫の理解、家族の協力が不可欠だとつくづく思います。講演を通じて、講師の家庭は明るい家族で各自が自立できているんだらうなあと思惟した。また講師から手書きの名刺を頂き感動した。微力ながら後をついていこうかしらと心が動いた。
- ・ 思春期の心身の状態は家庭環境に大きく左右されるとのことで、子育ては非常にプレッシャーを感じるが子供と一緒に成長していきたいと思う。
- ・ 講演内容とタイトルが違うのでは？と思惟しましたが、講師の生き方、考え方、行動には感動しました。内面性、精神性の落ち着き、話題の高度さに聞き入りました。
- ・ 講師のお話、興味深く聴きました。もっとひとつの話を具体的に掘り下げて聴きたいと思いました。
- ・ 講師のバイタリティある行動に感激、人間は

やはりやる気を出さねばとつくづく自分に奮起。

- ・子育てがほぼ終わりに近付いている私は、もっと早くに思春期を迎える子供たちとの接し方等を聴く機会があったらなあと思いました。健康問題の話などもっと色々なことを聴きたかった。時間が短かったのが少し不満に感じました。
- ・看護は患者さんが病院に入ったときから始まるとおっしゃったことが心に残っています。私も現在病院勤務（事務職なのですが）、患者さんとの接触は少ないですが、患者さんの気持ちを和らげる看護は職員の私たちでも出来ると思いました。今後、私たちが出来る看護は積極的にしていきたいと思います。そして何才になっても自分がしたい仕事に努力していく姿は素晴らしいと思いました。私も何才になってもいろんな事を勉強していきたいと思います。

## セミナーについて

- 1、今後、どのような講師（テーマ）のセミナーを希望しますか？
  - ・健康について（ストレス解消も含めた）のセミナー。
  - ・思春期の子育てについてのセミナー。
  - ・料理教室も楽しそうです。
  - ・定年後の生き方など。
  - ・健康にだんだん不安になってくる年代に近づく私は日々の食事や運動等の話や介護現場におけるいろいろな問題事情など聞いてみたい。
  - ・生き方、社会性に関するもの。
  - ・社会保障制度について、語弊はあるがいわゆる専業主婦は優遇されている反面、届け出の不備や離縁等によって年金額が大きく減る場合があったり問題があると思う。給付と負担の仕組みやそれに伴う問題点等わかりやすく教えてもらいたい。

- ・組合の現状、方向性について。
- ・家族対象なら親睦を深められるもの。
- ・ボランティア活動の参加呼びかけのもの。
- ・今回の笠原講師のセミナーをもう少し聴いてみたい。

## パンテックユニオンの活動について

- 1、「労働組合」がこうしたボランティア活動やセミナーを行うことについてどのように思いますか？
  - ・とても良いことだと思います。モンゴルのボランティア活動や日本国内のボランティアなど続けてほしいです。世界中で私たちを必要とする子供たちを少しでも助けられたらと思います。
  - ・今回のセミナーは私にとってとても有意義なものでした。
  - ・積極的にボランティア活動やセミナーを行われており、素晴らしいことだと思う。今回のセミナーに参加させていただき活動内容など初めて知ることが多かった。
  - ・本来の組合活動が行われた上で、組合員の結束、レクレーション、ボランティア活動が行われるのならとても良いことだと思う。
  - ・今回は、いろいろお世話いただきありがとうございました。参加するまでは不安もありましたが、素晴らしいお話が聞けて本当に良かったです。今後も積極的なボランティア活動など楽しみにしています。
  - ・セミナーはとても良い勉強になりました。交流会も徐々に知人にお会いできて楽しかったです。今後も私たちの生活に関係したいろんなセミナーを続けてほしいと思います。
  - ・阪神淡路大震災後、私は看護協会からの派遣により、地域に建てられた仮設住宅に約3年間訪問しておりました。アルコール依存症の男性、病弱な夫を介護する老婦人、登校拒否の子供を持つ母子家庭等、いろんなケースに関わりました。その中で学生や民間企業など

様々なボランティアの方たちとの出会いがあったのですが、仮設住宅で過ごされる方々にとって必要とする活動をそれぞれが工夫しながら行っていたことに頭が下がる思いでした。ことを思い出しました。労働組合の方がボランティア活動されるにあたり、受ける側が必要とすることを提供するという基本を忘れずに、これからもぜひ続けて行かれることを期待しております。

- ・他に類を見ず、たいへん意義のあることだと思うので、可能な限り続けてもらいたいし、輪が広がっていけば良いと思うが、本来であれば会社がするべきことかとも思う。
- ・意識改革のため誰かがどこかで後押しをしてもらえなかったら出来ないことなので素晴らしい活動だと思います。
- ・とても良いことだと思います。もっと数多くのセミナーを行って沢山の方々にも参加できる形のボランティア活動にしていてもらいたい。私も含めて専業主婦で家に籠もりがちな人も内心は何か機会があれば何かしたいと思っている方が多いと思いますので。

2、パンテックユニオンでは、今後ご家族も参加できる行事を開催したいと考えていますが、どのような行事であれば参加したいと思いますか？

- ・スポーツ（ボウリングなど）で小さな子供から大人まで参加できるものが良いです。
- ・今回のようなセミナー形式がよいと思う。
- ・10年後を考えるようなスキルアップセミナー。自己啓発型のセミナー。
- ・会社の製品をカタログなどでは見ていますが、実際に作っている素晴らしい製品を見たいです。
- ・私たちの家族は4年の社宅住まいから16年前に現在の地に転居しました。上の子供は社宅で生まれ、初めて友達を作り、泣いたり笑ったり周りのお母さん方にも大きく育てていただきました。転居後は年一回の会社の運動会を通して社宅で過ごした方と、また子供のお

友達と再会し昔話に、そしてお互いの子供の成長に話の花を咲かせていました。残念なことここ数年、運動会が開催されずそういった機会がなくなってしまいました。組合員相互の親睦を図る意味でも家族が一同に集うことが出来る行事をぜひとも復活させて頂きたい。

- ・子供が少し大きくなってきた（高校生以上）家庭でも父親の職場見学が出来るようにしてもらいたい。今回のセミナーも子供と参加したかった。
- ・ハイキング、交流会など。

3、ユニオンへのご意見、ご要望があればなんでもご記入下さい。

- ・楽しい企画ありがとうございました。たいへん勉強になりました。
- ・ボランティアの活動の情報をもっと知りたい。協力できることがあると思うので。
- ・パンテックユニオン独自の活動を続けてもらいたい。先行きが不透明な中、やはり雇用を守ることを第一に考えてもらいたい。
- ・今まで興味を持ってなかったですが、広報紙を通じて組合員家族にもいろいろメッセージを下さい。
- ・40代以上を対象としたセミナーが少ないのでは。この年令の意識革命のところが抜けています。